

美幌町教育大綱（案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施結果

令和5年11月6日(月)から12月8日(金)までの間、「美幌町教育大綱(案)」について、パブリックコメント(意見公募)手続を実施したところ、1件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する町の考え方及び回答を取りまとめましたので、次のとおりお知らせいたします。

No.	区 分	ご 意 見 概 要	町 の 考 え 方	回 答
1	学校教育の充実	<p>小中学校に関しては、なぜこれを学ぶのかを理解し、これからどんな学習をするのか、今のうちにこれを知っておくと大切だという気付きを与えること。小学校での学習領域を中学校でもしっかりと結び合わせる機会を子ども達に与えることが重要です。</p> <p>郷土芸能、昔の遊び、地域の文化を守るために必要なことを考えたり、ボランティア活動を行ったり、ICT教育を通じて国内の姉妹都市の学校と交流したり、同じテーマを考えている学校とつながったり、解決策を模索し、子ども達に考えてもらい、見聞を広げる機会を与えることが重要です。</p> <p>美幌高校に関しては、東京農大との連携も行い、なぜ高校で今この学習を行っているのかの理解力を深め、農大にも、高校生がここまでできる可能性を持っているとの認識を持っていただき、みらい農法など地域の多くの施設や技術を広く学ぶ環境を創造すること。諸地域や諸外国の農業も知り、農機具整備工場、農機具販売店も見学し、見聞を深めること。これに尽きると思います。</p> <p>皆がその国の言葉で挨拶をするなど、地域で協働する外国人の方との交流やその国への理解を広げる場も設け、地域参画の意識を持ち、新しいオホーツクに貢献できる人材を育成する可能性を広げる場となる高校生活であることを願います。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、学校教育の充実のための取り組みの参考とさせていただきます。</p>	<p>大綱につきましては、原案のままとさせていただきます。</p>